



こんにちは！梅雨真っ盛りのこの頃、青々とした田園風景の中に黙々と草刈り作業が続く大野盆地です。皆様いかがお過ごしですか。この「おおのぐらしにゅ〜す」は、大野市または奥越前まんまるサイトへ移住のお問い合わせをいただいた方にお届けしています。移住定住に関する情報の他、まんまるスタッフがふと気づいた大野ならではの話題をお伝えできればと思っています。皆様の地区でも大野のオモシロ情報などありましたら是非お寄せ下さい。また「大野のこと、もっと知りたいな」という方はお気軽にお問い合わせ下さい。

大野城の麓に「大手門広場」が誕生！



旧裁判所跡、その昔は大野城の外堀を越えて城郭内に入って行く場所に、芝生と親水公園を兼ね備えた「大手門広場」が完成しました。さっそく水と遊ぶ子どもたちの歓声が聞こえてきます。「水のまち おおの」をより身近に感じることができる場所として、たくさんの方々にも愛されていくことでしょう。

まちなか循環バスが、便利にリニューアル



全て、赤と青のツートンカラー
乗り降りしやすい小型ノン
ステップ車両となりました！

たまには
バスでお
出かけも
楽しいで
すね！

◆ まちなか循環バスとは・・・

市街地内にある公共施設、病院、学校、スーパーなどを周り運行しています。年末年始を除き毎日運行。運賃は距離に関わらず大人（中学生以上）100円、小学生50円、小学生未満は無料です。障害者手帳をお持ちの方と介護者は50円です。

大野に移住しました



購入された古民家の前にて
遊びに来ていたお友達と一緒に

「この古民家に巡り合うまで、空き家を20軒以上は見回りしました。リフォームされていてすぐに移り住めること、今後本格始動させていきたい「陶芸」ができること、が購入の決め手です。」



そうニコニコと話しながらかけてくれたのは、ご自身が作陶された数々の「シーサー」達。

ふと訪れた沖縄で、陶芸と出会いそして奥様と出会ったことがきっかけとなり、巡り合ったこの古民家を拠点に自分たちならではのモノづくりをライフワークにしていけたら、と夢を広げています。



「豪雪地と聞いているけど、除雪が家の前まで来てくれるし、何とかかなかな」とおらかな笑顔の奥様。
～地域の人々がどんどん減っていく～
そんな心配を吹き飛ばす爽やかな風を歓迎いたします。ようこそ大野へ！

暑い夏は、涼しい六呂師へ！



標高約 450mに位置し広々とした風景が広がる六呂師高原。高原の中央にある「ミルク工房奥越前」では地元六呂師の牛乳を使ったソフトクリームに特製シフォンケーキとウシ型クッキーをトッピングした「moumouサンデー」が新登場！甘すぎず牛乳のおいしさが際立ちます。のんびりしたいなという時には是非！



大野地球科学研究会とジオカヤックツアーを企画



『今年から九頭竜ダム湖にて「九頭竜ジオ・カヤックツアー」を開始しています。カヤックと化石探しの冒険満載で親子でドキドキワクワクの時間を過ごしてほしいと願っています。』（主催者より）

大野地球科学研究会のみなさん



九頭竜湖周辺の地層の成り立ち、不思議、オモシロサを知ろう

みにこらむ

大野のあれやこれ



大野に暮らしてちょっと気になる情報や耳よりなでき事をご紹介します！

～ 七間通りにジェラート店が OPEN ～

7/8にオープンしたばかりのイタリアンジェラート専門店『CICCI』。店主の永井さんはご主人と共に大野へ移住して5年目、当初から「味わいあるこの場所で自分のお店を」とビジョンを温めてきました。ひと足先に居酒屋をオープンさせたご主人に続き七間通りにまた素敵なスポットが生まれました。



本場イタリアからジェラート製造機とショーケースを取り寄せ、店頭で販売する分を毎朝仕込むこだわりもプラス。種類は常時8種類あり、大野のお醤油や梅、赤しそを使った「おおの」の味も楽しめます。メニューは季節によって少しずつ入れ替えていくとのこと。子育て真っ最中のお母さんでもある永井さん、お店には靴を脱いでくつろげるスペースや走り回れる芝生のお庭があり、親子でゆっくりしてもらえたら、と笑顔で話していました。

大野市空き家情報バンクに物件が続々

大野市が売買可能な空き家所有者から情報提供を受けて、公開しているのが空き家情報バンクです。昨年度はこのバンクを活用し 18 件が成約に結びつきました。また、新規登録物件が随時更新されています。移住をご検討の方は是非ご利用下さい。



大野市空き家情報バンク

次回のおおのぐらし交流会は
9/16「六呂師高原サイクリン
グ&森で座談会」

お問い合わせ先

移住定住
ポータルサイト
更新中です♪

(H25.4 から大野市より移住定住業務の一部を受託しています)
〒912-0131 大野市南六呂師 169-124
Tel・0779-67-1117/ Email・manmarusaito@goo.jp

担当:坂本 道子

編集後記

猫の額の畑に今年も夏野菜を植えた。ある強風の朝、一本のナス苗が主軸から折れてしまった。今度植え替えようと思いつつ放置し、またひと月。脇芽からどんどん大きく育ち今は紫の花盛りとなっている。こんな放ったらかしの畑だが、たまの作業が楽しくうれしい。

